

専門教育科目

講義科目

授業科目名	ビジネスに生かすコーチングスキル	科目コード	配当年次	単位
担当教員	榎永 慶司	HH83	2	2
科目の概要				
<p>メンバーに何かを教えるだけであれば誰にでもできるはずだ。ビジネスコーチングはメンバーの「能力」を引き出すことを目的にしている（メンバー・オリエンテッド・アプローチと言う）。そのためのコーチの役割とコーチングの基本スキルをまず理解する必要がある（分冊『コーチングのスキル』）。</p> <p>コーチングは頭で理解しただけでは意味がなく、実際にコーチングが「できる」ことが肝要だ。そこでこの授業では12の事例を通してさまざまなケースに応じたコーチングができるようになっていく（分冊『ケースで実践！コーチング』）。</p>				
科目の到達目標				
<p>①組織の目標達成のためにはどうすれば良いのかを自ら考えることができる、という主体性のあるメンバーを育成するための、コーチングの基本と役割が理解できる。</p> <p>②ケース学習を通して実際のコーチングができるようになる。</p>				
テキスト	<p>『コーチングのスキル』 関 直治, 産業能率大学, 2016年 『ケースで実践！コーチング』 関 直治, 産業能率大学, 2016年</p>			
テキストの読み方				
<p>①組織の目標達成と人材育成で理想的な職場ができることを理解する。</p> <p>②コーチングの基本は、メンバーの個性を理解しメンバーの立場に立って支援をする「メンバー・オリエンテッド・アプローチ」であることを認識する。</p> <p>③メンバーの育成計画は、目標設定と目標達成のための手段、支援方法をその都度考えさせることを理解する。</p> <p>④メンバーの主体性を引き出すコーチングの基本スキル（傾聴、状況説明、発表）を理解する。</p> <p>⑤事例を通してメンバーの個性に応じたビジネスコーチングの方法を理解する。</p>				
単位修得の方法				
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>				